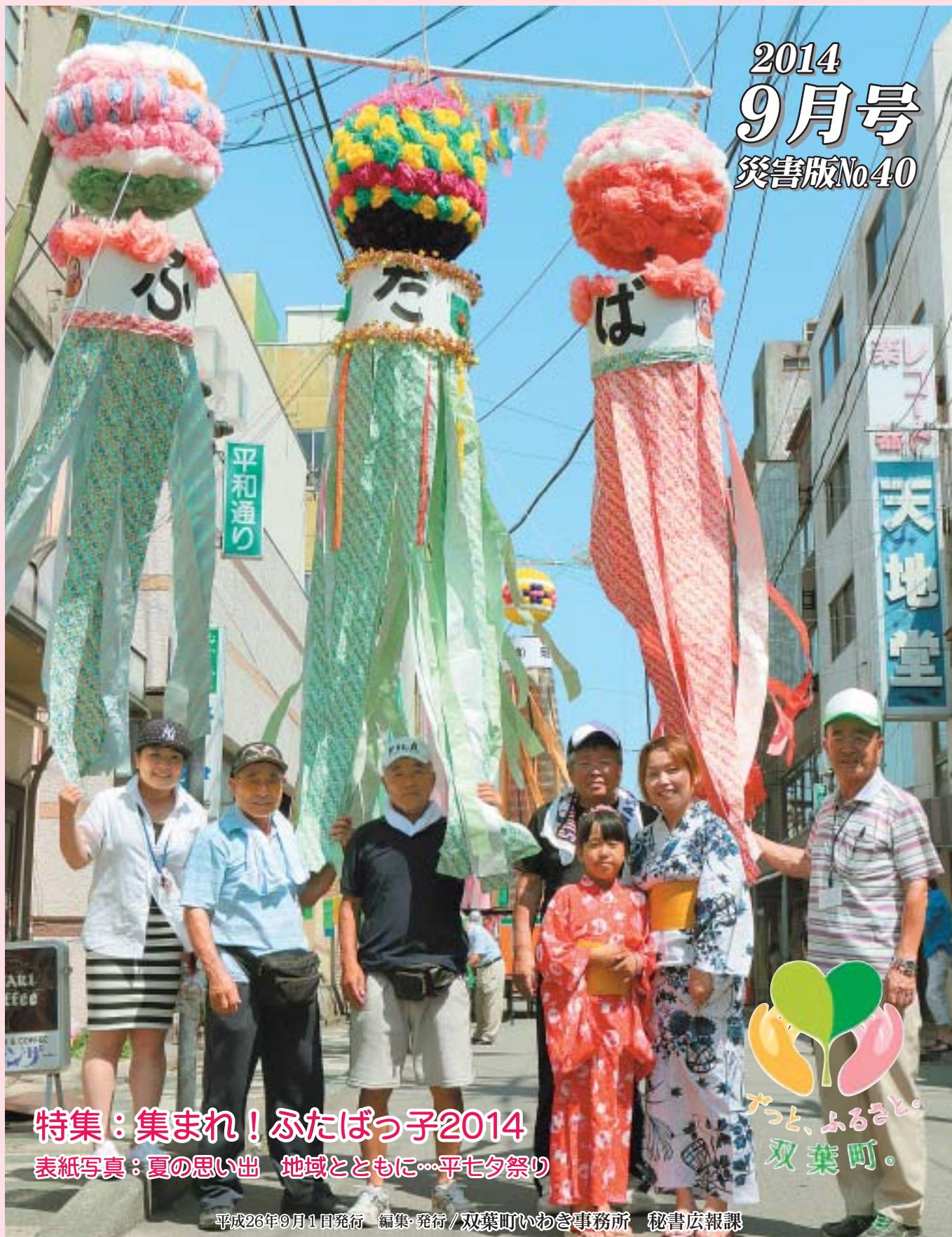


広報 ふたば

2014
9月号
災害版No.40



特集：集まれ！ふたばっ子2014

表紙写真：夏の思い出 地域とともに…平七夕祭り

まつと、ふるさと。
双葉町。

集まれ！ ふたばっ子2014



◆各避難先から集合

8月2日、いわき市スパリゾートハワイアイズにおいて、将来の双葉町を担う子どもたちが、様々なふれあいの活動を通して心の交流を図り、双葉町の子どもとしての意識や自覚を持たせ、絆の維持に努めることを目的として、「集まれ！ふたばっ子2014」が開催されました。避難先から双葉北小学校児童23人、双葉南小学校児童30人、双葉中学校生徒23人、高校生6人、保護者の方などを含め約180人が参加し、1年ぶりの再会を喜び、友情を温め合いました。受付では、久しぶりの再会に手を取り合い、抱き合って喜ぶ姿があちらこちらで見られました。

また、異動により双葉町の小・中学校を離れた先生方も参加し、懐かしそうに双葉町での思い出を語り合いました。会場には都合により参加できなかつた先生方からの激励のメッセージが張り出されていました。

この事業は、双葉町青少年育成町民会議の主催により行われました。

開式の前には標葉せんだん太鼓保存会の皆さんによる「稻妻」、「夏」の演奏が行われました。横山久勝会長が「標葉せんだん太鼓の音を双葉の音として後世に残したい」とあります。勇壮で力強い太鼓の音を聴きながら参加した皆さんは双葉町へ想いを馳せていました。

◆標葉せんだん太鼓でオープニング



▲伊澤町長から双葉ダルマを受け取る
會澤くん

次に、東日本大震災や避難生活により亡くなられた方々のご冥福を祈り全員で黙とうを捧げました。

◆開会式

開会式では、双葉町青少年育成町民会議会長である伊澤史朗町長が「友達と語り合い、交流を通して楽しい思い出を作つてほしい。双葉町としても一刻も早い復興と町民の皆さまが双葉町をいつまでも愛し続けられるよう、生きがいのあるまちづくりに取り組んでいきたい」と主催者を代表してあいさつしました。

次に、佐々木清一双葉町議会議長がお祝いのことばを述べられました。

伊澤町長から児童生徒を代表して遠く小笠原諸島の父島から参加した會澤武藏くんに記念の双葉ダルマが贈られました。

続いて、双葉南小学校代表の宗像夏輝くん、双葉北小学校代表の石井優希さん、双葉中学校代表の高野祐一郎くん、高校生代表の郡山北工業高校3年の井戸川直樹くんがこれまでの想いや願いなどを一人ずつ発表しました。

昨年に引き続き、スパリゾートハワイアンズダンシングチーム「フラガール」のリーダーモアナ梨江さん（細谷）他、2人のフラガールの指導により、全員でフラダンスに挑戦しました。

レッスンは、基本姿勢やステップなどを教わり、「月の夜は」の音楽に合わせて手の動かし方などを教えていただきながら練習をしました。

初めは緊張してぎこちない動きでしたが、次第に笑顔がこぼれ、歌を口ずさみながら楽しそうにフラダンスを踊る姿が見られ、会場は温かい雰囲気に包まれました。

◇フラガールとの ふれあい



ステージイベントでは、双葉町商工会の相樂比呂紀さんと復興支援員の草野恵美さんがパーソナリティを務めました。



昼食はバイキング形式で行われ、順番に並んでそれお皿に食事を取り分け、友達と一緒にテーブルを囲んで楽しくいただきました。



◇短冊に願いごとを

それぞれ短冊に願いごとを書き、壁面に飾られた天の川の両脇の笹竹に貼り、七夕飾りを完成させました。

児童・生徒発表… 代表者がそれぞれの想いを発表

これまでの自分と願い

双葉南小学校代表
(埼玉県加須市騎西小学校5年)

宗像 夏輝くん



ながら、キャンプファイヤーやカレー、ライスを作つたりしました。友達と一緒に協力して作つたカレーはとてもおいしかつたです。最高の思い出となりました。

ぼくは、震災前までは、海の近くの家に住んでいました。双葉にいるときには、お父さんの仕事場も近かつたので、毎日みんなで歩いて仕事場まで行つてお父さんに会いに行くことができました。けれど今は、お父さんが福島に行つてるので、一週間に1、2回しか会えません。だからぼくは、お父さんとお母さんみんなで元の生活に戻れる日まで、今、自分がやれること、がんばることを一生懸命にやりどげていくのがぼくの目標です。

双葉北小学校にいたときに、あの大震がきました。

その時はまだ3年生になる前で、毎日学校へ行つて勉強して、仲の良い友達が数人いて、一緒に暗くなるまで遊んで、柔術習つて、お

兄ちゃんとケンカして、お兄さんの手伝いをちょっととして、お兄ちゃんとケンカして、もう3年過ぎたけど、福島市も慣れたら楽しくなりました。

友達もたくさんできだし、マーチングバンドでユーホニューム吹いて、お店がいっぱいあるからよく買い物して、ジャニーズが好きになつて、やっぱりお母さんの手伝いをちょっととして、犬飼いたつて言つたらお父さんにダメって言われて：

でも年に一回だけ、双葉町の友達に会えるのが一番の楽しみなのです。お父さんは現在お店を経営しています。そこに双葉の人気がたまに遊びに来るそうです。「昨日、○○ちゃんのお父さんが来たよ」とか、「○○くんが家族で顔出すそ�だからお母さんと早く来なさい」とか：

現在も充実しています

双葉北小学校代表
(福島市立北沢又小学校6年)

石井 優希さん

ぼくは、現在、埼玉県の加須市立騎西小学校に通つています。震災後、町ごときいたまスーパーアリーナ、その後は旧騎西高校にぼくは家族と一緒に避難し、2年生の時に騎西小に転入しました。

あれから3年4ヶ月が経ちました。ぼくは今年5年生です。5月には運動会がありました。一番がんばったのは、組体操です。飛行機という技が難しかつたのですが、練習を一生懸命がんばり、本番では見事に成功させることができました。たくさんの拍手をもらつてとてもうれしかつたです。

それから、7月29日から二泊三日で長野県の志賀高原に林間学校で行つてきました。志賀高原の自然にふれました。



を忘れてしまつたりすることはさびしいことだと思います。だから、先生方にお願いしたいです。この集まりをずっとずっと続けていくつてほしいです。友達と会えること、話せることが、本当は一日だけじゃ足りません。

双葉町に生まれて良かつたのかな?いいえ、私はこの双葉町に生まれて良かつたと思います。

双葉町に帰ること、それは実際とてもむずかしい問題です。でも私は諦めず何があつても友達や家族と未来へ向かつて歩いていきたいと思っています。

双葉町も楽しかつたけど、現在も充実しています。ちゃんと自分の足で歩いています。



現在の自分と これから願い

双葉中学校代表
3年

高野祐一郎くん



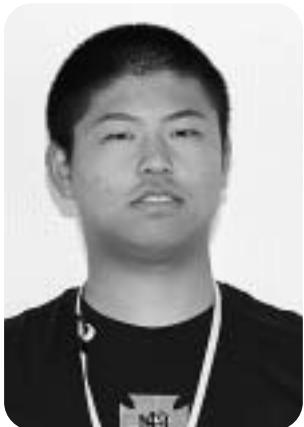
震災が起きて3年4ヶ月が経ちました。この約4年間を過ごして、たくさんの経験をしてきました。

まず震災直後は川俣町の体育館へ避難し、次に猪苗代へ避難し、会津若松市へと避難しました。会津若松では門田小学校に転校しました。門田小では、最初の頃は人とうまく話せなくて辛い時期がありました。でもサッカーを通して友達とうまく話せるようになりました。充実した一年を送ることができました。中学校はいわき市の平第一中学校に入学しました。

平一中では人間関係や部活でうまくいかず学校へ行かなくなりました。でも、高校に行きたい思いがあつたのでこのままではダメだと思い3年生から双葉中学校へ通うことを見つめました。ぼくは、一学期だけでもいろいろな経験をしました。特に一番記憶に残っているのは陸上大会です。陸上大会は

一回で結果を残さなくてはいけないので短期間ではありました。でも、陸上大会のグラウンドを借りて毎日練習をしました。でもそれだけでは足りないと思つたので帰つてからも自主トレーニングもがんばりました。でも大会の時には周りの人どんどん抜かされて悔しい思いをしました。だけど、陸上大会を終えた後は満足感でいっぱいになりました。またそれと同時に向上心も高まりました。

一人だけの教室は心細いこともあります。不安になつて立ち止まつても前に進めないので、今は自分の目標に向かつてがんばりたいと思います。



高校生代表
(福島県立郡山北工業高校3年)
井戸川直樹くん

約束の日

その日、私は郡山北工業高校ナインとともに高校野球夏の大会を戦つてきました。対戦相手は強豪の学法石川高校で、序盤から投打に圧倒され思うように自分たちのプレーができませんでした。

間もなく自分の進路を決める時期になります。ふるさとの復興に役立ちたいと思いつ業高校に入学しましたが、今のところ地元に戻ることは難しく、さみしい思いもあります。しかし、双葉町がふるさとであることを忘れずにこれからもしっかりとがんばっていきたいと思います。

一方的な試合内容で敗れてしまいました。悔しさと自分への不甲斐なさでうつむきながら球場を出ると、大勢の保護者や応援団の皆さんのが拍手で出迎えてくれました。その中に彼の姿がありました。

3年前、さいたまスーパーアリーナに避難した時に学生ボランティアとして来ていた彼が、坊主頭の私を見つけて「野球をやっているのか」と声をかけてくれたのが知り合ったきっかけでした。自分も高校球児だった彼は、その後何度も避難先に会いに来ててくれ、仲間からバットやグローブを集めたりして、野球を続けるようにと励ましてくれました。その年、中3の夏休み、私が福島に戻る時、「高校でも野球やれよ。大会には必ず応援に行くから」と言って見送つてくれました。その約束の日が今日だつたのです。私は彼に申し訳ない気持ちで「いいところを見せられなくて」と言うと、「がんばったじゃないか。また大きくなつたな」と肩を抱いてくれました。3年間、夢中でやつてきましたが、大会を終えた今、こうして自分を思い続けてくれた人や支えてくれた人が大勢いたことに改めて気づき、感謝の気持ちでいっぱいです。野球を続けてきて本当に良かつたと思いました。



▶いわき市のマスコットキャラクターふらお
じさんも応援にかけつけました。



▲発表した4人の児童、生徒に大きな拍手が送されました。

学校ごとに記念撮影

集まれ！ふたはっ子 2014

双葉南小学校



双葉北小学校



再会の思い出に



高校生



会場の壁面には、たくさんの願い事が書かれた短冊を飾りました。

◆えりのあ、みちのく
ボンガーズのショーアクション

食事の後は、双葉町出身で福祉の仕事をしながら全国各地で幅広いボランティア活動や栃木県の「どちぎ未来大使」として活躍しているシンガー・ソングライターの「えりのあ」のミニコンサートが行われました。

歌の合間には、自分の体験談などを話され、また歌に合わせて子どもたちも一緒に体を動かすなど、会場は盛り上がり、心温まる楽しいステージとなりました。

続いてのステージでは、「みちのくボンガーズ」によるお笑いライブが行われ、子どもも大人も間近に見るお笑い芸人におおいに笑い、拍手を送り、写真を撮つたり握手を求めたりして楽しい時間を過ごしました。

解散式では、思い出を振り返るインタビューが行われ、半谷淳教育長のあいさつで解散となりました。



▲えりのあのミニコンサート



▲みちのくボンガーズのお笑いライブ



町民の皆さんへ

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故から今月11日で、3年6カ月となります。依然として、私たち避難住民には国や東京電力の取り組みの成果が具体的に見えてこない状況にあります。しかし、厳しい避難生活を送っている町民の皆さまの想いを胸に、町民の皆さまの生活再建と双葉町復興再生等の具体的な施策の実施に向けて、全力で取り組んでいるところであります。

7月26日、根本復興大臣がいわき市を訪れ、いわき市錦町地内の双葉町立学校仮設校舎建設現場と、いわき市勿来町酒井地区の復興公営住宅の整備予定地を視察いただきました。町立学校仮設校舎建設現場では、2学期から使用される校舎と体育館内部を視察し、私から町立学校の現状と工事の進捗状況などについて説明しました。また、復興公営住宅の整備予定地では、福島県生活拠点課長から復興公営住宅の概要について説明がありました。町では、ここの場合を復興公営住宅のほか、医療・福祉施設、商業施設や集会所などを兼ね備えた双葉町外拠点と位置付けており、郡山市、白河市、南相馬市に要望している復興公営住宅と併せ、国と福島県に対して、施設の早期整備を強く求めているところです。

次に、中間貯蔵施設について申し上げます。5月31日から6月15日まで開催された、国による住民説明会でのご意見、

ご質問を踏まえ、7月28日と8月8日に、石原環境大臣と根本復興大臣から国の考え方が次のとおり示されています。
①法制化等については、法案の骨格部分の内容を確定させ、国会の状況を踏まえ、速やかに法案を閣議決定し、国会に提出すること。また、国と県・町との間で中間貯蔵施設の整備・稼働に係る協定を締結すること。
②用地の取扱い等については、地権者の意向を踏まえ、買取りに加えて地上権も選択肢とし、両者から選べるようにすること。さらに、住民票の取扱いについては、転居希望先が帰還困難区域等に指定されている間は、現在の住民票はそのままにしておけるものとすること。
③町の将来像については、双葉町、大熊町の住民の不安感を可能な限り払拭するため、復興庁として両町の復興に向けた基本的な考え方を作成し、町とともに復興の具体化を進めしていくこと。
④生活再建策・地域振興策については、国として、総額3,010億円の新規かつ追加的な財政措置を講じること

7月29日の双葉町、大熊町議会合意見交換会後に行われた町議会からの申し入れも踏まえ、今回の国からの回答内容を精査し、議会等との協議や大熊町、福島県との連携を図りながら、引き続き慎重に対応してまいりますので、改めてご理解とご協力ををお願いいたします。

結びに、町民皆さまのご健勝を心よりお祈り申し上げます。

双葉町長

**伊澤
史朗**

双葉町の復旧・復興に向けた政府・政党等への要望活動

原子力事故の収束及び帰還の見通しが立たない中にあって、避難生活の長期化も見込まれることから、双葉町の復興に当たっては、①帰還の意志に関わらず、すべての町民が避難先で生活再建を果たしていくこと、②双葉町の土地を復旧・復興し、帰還を希望する町民と新たな町民による双葉町の再興を成し遂げていくことが必要となってきます。町では、今年度「双葉町復興まちづくり長期ビジョン」の策定に当たり、課題の解決と平成27年度以降の政府予算の概算要求等に向けて、7月16日、17日の2日間、32項目の重要課題について要望を行いました。

要望活動では、町の要望事項について、政府・政党等から一定の理解をいただきましたので、今後の政府等の対応をしっかりと見極めながら、要望を継続して行ってまいります。

主な要望事項は、次のとおりです。

- ・双葉町への帰還時期の明示等について
- ・町内復興拠点の整備について
- ・廃炉・研究開発・新産業拠点の形成促進（イノベー

ションコスト構想の実現）について

- ・双葉町内の早期除染の実施について
- ・賠償指針・基準の見直しについて
- ・復興公営住宅と町外コミュニティ（町外拠点）の早期整備について
- ・町商工事業者の事業再開について
- ・応急仮設住宅（借上住宅を含む）について（供与期間の延長と応急仮設住宅の居住環境の改善）
- ・高速道路無料措置の延長について
- ・医療費等の免除措置の延長について
- ・健康管理体制の構築について
- ・復興に向けた町の財源確保について
- ・避難者受入自治体に対する支援措置の継続について



▲田村厚生労働大臣へ要望の説明

双葉町復興推進委員会

— 第2期 審議状況の報告 —

双葉町復興推進委員会が平成26年4月から第2期として新たなテーマで審議を進めていますので、審議状況を報告します。

平成25年10月から審議を始めた第1期では「双葉町復興まちづくり計画（第一次）」（平成25年6月策定）に書かれた施策について、平成26年度から当面事業着手すべきものを中心として議論・提言していただき、その提言を受け双葉町では事業計画（実施計画）を策定しました。

第2期では次の2つのテーマについて審議を進めています。

- ・テーマ① 「双葉町の将来像について」
- ・テーマ② 「町民の今後の暮らしが町民コミュニティの形成について」

致などについて多くの意見が出されました。ここで出された意見やアイデアは、今年度町が策定する「双葉町復興まちづくり長期ビジョン」に反映されることになっています。



「双葉町の将来像について」～委員から出された意見の概要～

■将来にわたって残す双葉町

- ・「清戸廐装飾横穴墓」や「双葉海水浴場」など
 - ・町の花「桜」を植樹して、将来、桜の森をつくる
 - ・町の風景を写真集で残す
 - ・「神楽」、「せんだん太鼓」など文化の伝承
 - ・原発事故の記録を残す資料館をつくる
- など

■新たな街の核・シンボルづくり

- ・「清戸廐装飾横穴墓」の図案をシンボルとして使用
 - ・医療・介護施設を充実させ、町民同士が支え合う
 - ・研究施設や教育機関を誘致し、町から技術、知識、人材を世界へ輸出する
 - ・宿泊施設を整備し観光事業を推進
- など

■町の復興を牽引する新たな産業の誘致

- ・国策としての推進が必要
 - ・イノベーション・コスト構想を中心とした誘致
 - ・廃炉・除染関連産業の人材育成
 - ・生活関連産業（宿泊、サービス業）の創出支援
 - ・花卉（花）産業の復活
- など

■次代の双葉町を担う人材の育成

- ・町の良さを伝承するプロジェクト推進
 - ・町へ戻る学生に対する奨学金制度の充実
 - ・大学と研究機関等の产学研連携を推進し、雇用創出
 - ・世界に一つしかない研究機関を設ける
- など

委員からは、復興公営住宅の早期整備や町民の交流の場の確保など現在の町民が抱える課題に加えて、双葉町の将来像や復興の理念などについて重点的な議論が行われ、双葉町の夢ある復興の姿や将来にわたって残すべき風景・文化、新たな街の核・シンボルとなるもの、新たな産業の誘

【問い合わせ先】
復興推進課 復興推進係
☎ 0246-5203

双葉町復興支援員の紹介

8月1日より復興支援員として
西田幸司さんが双葉町復興支援
員埼玉事務所に勤務しています。



このたび8月1日より双葉町復興支援員として、埼玉県加須市を拠点に勤務することになりました西田幸司（にしだこうじ）と申します。出身は兵庫県の篠山です。丹波篠山といえば黒豆が有名なのですが、ご存じの方はいらっしゃるでしょうか？前職は青年海外協力隊として南アフリカ共和国で数学を教えていました。以前はそれほど日本という国を強く意識していなかつた私が海外から日本を見つめることで、より日本という国これからを意識するようになりました。しかし、そんな想いを漠然と抱えてはいるものの、どうすればそれを実現していくのかを

考えている中で、復興がまだまだ進んでいないという現実を帰国後知りました。そんな中、復興支援員というお仕事を巡り合いました。震災後3年半がたちましたが、双葉町は地震・津波の被害だけでなく原発事故の影響で、復興への道のりがより難しいものになつていると聞いております。状況が複雑なだけに、本当にさまざまな想いがそこにあるのだと感じております。双葉町が抱えている課題はもはや被災地だけの問題ではなく、これらを解決していくことはきっとこれから日本の全体を元気にしていくことにつながると強く感じています。全員が笑顔になれる答えが簡単に出せない現状だからこそ、町民の皆さん一人ひとりと共に悩み、共に考え、共に新しい双葉町のこれからを創つていけたらと考えています。双葉の元気は日本の元気につながると信じています。

そこで、これまでの経験を活かして、双葉町が抱える課題を解決していくことを目標に活動してまいります。双葉町が抱える課題はもはや被災地だけの問題ではなく、これらを解決していくことはきっとこれから日本の全体を元気にしていくことにつながると強く感じています。全員が笑顔になれる答えが簡単に出せない現状だからこそ、町民の皆さん一人ひとりと共に悩み、共に考え、共に新しい双葉町のこれからを創つていけたらと考えています。双葉の元気は日本の元気につながると信じています。

ふるさとふくしま合同就職面接会

東日本大震災及び原子力災害により福島県から首都圏へ避難している方、福島県出身の新学卒者及び福島県でのお仕事をお探しの方に福島県の事業所を知っていただき、企業と人との出会いの場とするため合同面接会が開催されます。

- 日 時 9月21日(日) 午前10時～午後3時
- 開催場所 東京国際フォーラム展示ホール1
「ふるさと回帰フェア2014」会場内
- 参加対象者
 - ・福島県内に就職を希望する方
 - ・首都圏に住む福島県からの避難者
 - ・首都圏在住で福島県に実家のある大学・短大・各種専修学校生
 - ・福島県に興味のある方

【問い合わせ先】福島労働局 職業対策課
☎ 024-529-5438

10月1日～7日は「公証週間」です。

遺産相続、任意後見契約、金銭貸借、不動産貸借、離婚に際しての慰謝料、養育費などの問題は、後々にもめごとを引き起こしがちです。そんなとき遺言や当事者間の取り決めを公正証書にしておけば、トラブルを防止し、権利や財産を守ることができます。

相談は無料です。お気軽にご相談ください。

【問い合わせ先】いわき公証役場 ☎ 0246-23-4066

鴻草行政区からのお知らせ

鴻草行政区長 井戸川則隆

平成26年度の大字臨時総会・交流会を下記のとおり開催いたしますので、お繰り合わせのうえご参加ください。

記

○日時 9月20日(土)～21日(日)

1泊2日

現地集合…午後3時受付

総会…午後4時～

交流会…午後6時～

○場所 いわき新舞子ハイツ

いわき市平下高久字南谷地16-4

☎ 0246-39-3801

○会費 1人…10,000円

【連絡先】

井戸川 ☎ 080-3140-3552

志賀 ☎ 080-5225-9702

総合健診・がん検診のお知らせ

平成26年度の町の総合健診・がん検診を下記の日程で行います。

避難生活で体調の不安を感じている方も多いと思います。

健診によって、自分の健康状態を把握し、病気の早期発見・治療につなげることや、不安が軽減されることが目的です。年に1度はかならず受けましょう。



【福島県内に避難している方】

意向調査をもとに、受診票や容器を発送いたします。

	月日	場所	会場	受付時間	がん検診						
					特定 健 診*	骨粗 鬆 症	肝 炎	肺	胃	前 立 腺	大 腸
総合 健診	9月6日(土)	福 島	保健衛生協会健診センター	8:30-10:30	○	○	○	○	○	○	○
	9月20日(土)	南相馬	万葉ふれあいセンター 浪江町の会場で実施	※2	○	×	○	○	○	○	○
	10月21日(火)	会津若松	会津アピオスペース 大熊町の会場で実施	※2	○	×	○	○	○	○	○
	10月23日(木)	郡 山	福島県農業総合センター	9:00-11:00	○	○	○	○	○	○	○
	10月25日(土)	いわき	勿来市民会館	9:00-11:00	○	○	○	○	○	○	○
	11月11日(火)	いわき	常磐公民館	9:00-11:00	○	○	○	○	○	○	○
	11月12日(水)	白 河	国体記念体育館	8:30-10:30	○	○	○	○	○	○	○
乳 が ん	11月	会津若松	河東保健センター (大熊町の会場で実施※2)								
	12月8日(月)	白 河	白河市郭内第二応急仮設住宅集会所 (9:00-10:00、13:00-14:00)								
	12月9日(火)	郡 山	福島県農業総合センター (9:00-10:00、13:00-14:00)								
	12月12日(金)	いわき	常磐公民館 (9:00-10:00、13:00-14:00)								
	12月16日(火)	福 島	福島市保健福祉センター (9:00-10:00、13:00-14:00)								
	12月18日(木)	いわき	勿来市民会館 (9:00-10:00、13:00-14:00)								
	1月30日(金)	南相馬	原町保健センター (13:00-14:00)								
子宮がん		10-12月予定 医療機関での個別検診									

* 心電図、眼底検査も受けられます。健康診査、後期高齢者健康診査を含みます。

※2 受付日時はのちほどお知らせいたします。

【福島県外に避難している方】

総合健診、がん検診ともに健診実施機関に委託して行います。8月上旬に、クリームの封筒で通知しました。

健診は、お近くの医療機関でお受けいただけます。

検診によって、対象者が異なりますので、ご確認ください。	i	対象者となる方	肺(X線) 胃(X線) 前立腺(PSA) 大腸 骨粗鬆症 子宮(頸部) 乳(視触+マンモ) 肝炎ウイルス	40歳以上の住民 30歳以上の住民 50歳以上の男性 30歳以上の住民 40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳及び70歳になる女性 20歳以上の女性(住民)で職場等で受診機会のない方 40歳以上の女性(住民)で職場等で受診機会のない方 40歳になる住民で職場等で未受診の方
-----------------------------	---	---------	---	---

避難先の変更等により、意向調査(福島県内)や健診の案内(福島県外)を受け取っていない方は、お手数ですが、担当までご連絡ください。 健康福祉課 健康づくり係 ☎ 0246-84-5205

内部被ばく検査のお知らせ

①福島県保有の車載式ホールボディカウンターによる内部被ばく検査の日程

ホールボディカウンター車 巡回日程		
9月	3日(水)	会津若松市第二中学校西応急仮設住宅
	8日(月)・9日(火)・10日(水)	いわき市南台応急仮設住宅 第2集会所
	12日(金)・13日(土)	白河市郭内第二応急仮設住宅
	17日(水)・18日(木)	福島市北幹線応急仮設住宅
	24日(水)・25日(木)・26日(金)・29日(月)	郡山市富田町応急仮設住宅

検査時間：午前9時30分～午後4時30分（正午時から午後1時を除く）

②南相馬市立病院での内部被ばく検査の日程

9月 1日(月) 2日(火) 3日(水) 4日(木) 5日(金)
16日(火) 17日(水) 18日(木) 19日(金) 29日(月)

検査時間：午前9時30分～

①②の検査をご希望の方は、事前申込みが必要となります。検査希望日の10日前までに、検査申込書をお送りいただくか、下記問い合わせ先までご連絡ください。
※いわき事務所、埼玉支所での検査も随時受け付けております。



【問い合わせ先】 健康福祉課健康づくり係 ☎ 0246-84-5205

東日本大震災復興支援事業

元気あっぷライブ

日本赤十字社福島県支部では、復興支援事業として「元気あっぷライブ」を開催いたします。抽選で1,600名様を無料ご招待いたします。

中村雅俊・あんべ光俊・渡辺俊美
「復興支援アコースティックライブ」

- 日 時 10月5日(日) 開場：午後1時～
開演：午後2時～
 - 会 場 福島県文化センター（大ホール）
福島市春日町5-54
 - 出 演 中村雅俊、あんべ光俊、渡辺俊美
 - 招待者数 1,600名
 - 応募方法 ハガキまたはFAXで下記の必要事項記載の上、お申し込みください。
 - ①10/5ライブ希望 ②郵便番号・住所
 - ③氏名（フリガナ） ④年齢
 - ⑤電話番号
 - ⑥希望人数（お一人2名様まで）
 - 応募締切 9月19日(金) ※当日消印有効
 - 入場券の発送 9月26日(金)に当選ハガキ（入場券兼用）を発送します。
- ※応募多数の場合は抽選になります。落選通知はいたしませんので、ご了承ください。

【申し込み・問い合わせ先】

日本赤十字社福島県支部
☎ 024-545-7996
FAX 024-545-7923

消防署からのお知らせ

仏壇で使用するロウソクや線香による火災に注意しましょう！

お彼岸に伴い、ロウソクや線香の使用が多くなることから次のような火災が発生しております。

- 風や振動などで仏壇のロウソクが倒れて出火
- 仏壇のお供え物などに手を伸ばした際、ロウソクの火が着ている衣類に着火



次のことに注意して火災を予防しましょう！

- 火をつけたままその場を離れない。
- ロウソクの台は安定したものを使用する。
- 倒れないよう窓等の解放に注意する。
- 風の強い日は火を使わない。



お墓参り時のお願い！
火災予防のため、線香・ロウソク等の火気使用はご遠慮願います。

【問い合わせ先】

浪江消防署 ☎ 0240-38-2119
富岡消防署 ☎ 0240-25-2119

平成26年度 避難地域住民交流会の開催

日本赤十字社主催

日本赤十字社福島支部では、広域に避難されている町民の皆さん同士の交流を図ることを目的として、交流会を開催します。

久しぶりに町民の皆さん方が集い笑顔になれるよい機会となりますので、ぜひご利用ください。

○主 催 日本赤十字社福島支部

○共 催 双葉町

○期 日 10月9日(木) 日帰り

○場 所 「ホテル 華の湯」

福島県郡山市熱海町熱海5丁目8-60

○対象者 双葉町民

○定 員 150人

○内 容 全国各地に離散している町民同士の交歓
交流

(バイキング形式の昼食及び温泉入浴)

○費 用

- ・日本赤十字社負担：会場往復交通費（バス料金）、
昼食代（アルコール類以外）及び入浴料
- ・参加者個人負担：バス乗降場所までの交通費、
アルコール類飲料代等

○バス乗降場所

双葉町の各応急仮設住宅、JR会津若松駅、
JR福島駅、JR郡山駅、JRいわき駅

○申込要件 双葉町民1組2名以内・先着150名
(定員になり次第受付終了)

○申込方法 電話受付のみ

○申込受付

・申込先 双葉町役場 郡山支所 ☎ 024-973-8090

・受付期間 平成26年9月8日(月)～9月12日(金)

平日の午前8時30分～午後5時となります。

(定員になり次第受付終了)

※申込みの際には、申込者数(2名以内)、各々の
氏名、年齢、双葉町住所、避難先住所、連絡先電
話番号及びバス乗降場所を担当までお伝えください。

※電話がつながりにくい場合には、お手数をおかけ
しますが、時間をおいてお掛け直しください。

○その他

①参加する方は、旅行保険に加入しますので、必
ず指定のバスにより会場まで移動していただきます。自家用車により直接来場することはでき
ませんので、あらかじめご了承ください。

②当日の行程は下記のとおりとなる予定です。交
通事情により変更が生じる可能性がありますの
で、ご了承ください。また、後日、集合時間等
の詳細について、お申込みの代表者に文書にて
連絡いたします。

行程表（現時点での予定）

バス乗降場所 ⇒ ホテル華の湯到着 ⇒ 開会式 ⇒ 交流会
10:30 10:40 11:50-15:00
⇒ ホテル華の湯出発 ⇒ バス乗降場所
15:15

※各バス乗降場所の
出発及び到着時間
については、参加
者の集約後に決定
となります。



昨年度行われた交流会の様子



故郷を想う気持ちを再確認

平成10年度
双葉中学校卒業生
同窓会



※山根光保子さん（下条）より記事、写真のご提供をいただきました。

7月19日、東京都池袋サンシャインにおいて、平成10年度双葉中学校卒業生同窓会が行われました。この日のために、北海道、岩手、新潟など日本各地から51人が集まりました。成人式以来、中には中学校卒業以来の再会という友達もあり感動の再会の場面がありました。

同窓会実行委員の方が作成した卒業アルバムのスライドショーを見ながら当時の思い出や今的生活、家族のことをみんな思い思いに語り合いました。

結婚して一家を支えているパパや子育てに一生懸命なママ、自分のやりたいことをとことん楽しんでいる人、それぞれに充実した毎日を送っているようでした。

同窓会の最後には中学校の校歌をみんなで合唱し、震災があつても今でもみんながつながっていくられるうれしさや温かさを改めて実感することもできました。

学生時代とひとつも変わらないみんなの笑顔と思い出話で、故郷と思う気持ちを再確認するとともに、これから活力を養う同窓会となりました。

双葉農業普及所からのお知らせ

双葉農業普及所は、毎月県内6カ所で、避難されている農家の皆さんの相談窓口を設置しております。

窓口では、相談者の現在の状況を聞き取らせていただきながら、皆さんが必要な情報、（農産物・土壌モニタリング結果、原子力災害に対応した農業技術情報、資金・事業の紹介など）をわかりやすくご説明いたしますので、お気軽にお越しください。

9月の日程は右記のとおりです。

※町村間わざに最寄りの窓口にお越しください。

※右記以降の日程は随時お知らせいたします。

双葉農業普及所ブログ「ふたばの農業通信」に掲載しておりますので、ご利用ください。パソコン、携帯電話からご覧になります（携帯電話のパケット料金にはご注意ください）※時間：午前10時～正午

9月4日(木)	楢葉町役場いわき出張所 (いわき明星大学 大学会館2階)
9月5日(金)	葛尾村役場三春出張所 (三春貝山多目的運動公園管理棟)
9月11日(木)	双葉町役場いわき事務所 (いわき市東田町地内)
9月12日(金)	浪江町役場二本松事務所 (二本松市平石高田第二工業団地)
9月18日(木)	富田町仮設住宅 (郡山市富田町若宮前応急仮設住宅集会所)
9月19日(金)	大熊町役場会津若松出張所 産業建設課内

【問い合わせ先】双葉農業普及所

☎ 0240-23-6474
FAX 0240-27-4747

両竹地区総会・交流会



※齊藤六郎区長より、写真、記事のご提供をいただきました。

6月28日、29日、一泊二日の日程で、かんぽの宿いわきにおいて、両竹行政区（齊藤六郎区長）の総会・懇親会が開催されました。それぞれの避難先から30人の皆さんのが参加し、一年ぶりの再会を喜び合いました。

総会に先立ち、震災や避難先で亡くなられた方々のご冥福を祈り、全員で黙とうを捧げました。

総会は、熊川幸男さんの進行により進められました。齊藤区長よりあいさつがあり、町の復興の取り組みの現状と両竹の諏訪神社や墓地の現況についてなどの話がありました。

議事では、会計報告や役員改選が行われました。役員は現行の役員が満場一致で承認されました。

続いて行われた懇親会では、佐藤義國さんの発声で乾杯が行われ、震災後3回目の総会・懇親会でしたが、久しぶりの再会に喜び、ふるさと両竹地区での思い出話や今後の身の振り方などを語り合い、絆を確かめ合いました。先の見えないこれから的生活に不安を抱きながらもカラオケで盛り上がり賑やかなひと時を過ごしました。

翌日はいわき市平において、環境省より「災害廃棄物等の処理」についてと福島県からの「浜野、両竹地区の前田川堤防及び浜野地区の海岸工事」についての説明会があり、有意義な2日間を過ごしました。

双葉郡町村対抗交流野球大会



7月29日、楢葉町総合グラウンドにおいて双葉郡町村対抗交流野球大会が開催されました。

双葉町からは避難先からメンバーが集まり、監督も含めて9人の選手で戦いました。

1回戦で昨年の優勝チームの浪江町と対戦し、勝利することはできませんでしたが、暑さの中で選手たちのはつらつとした、最後まで諦めないプレーは、見ている人に元気を与えてくれました。選手の皆さん大変お疲れさまでした。



7月26日から28日まで3日間にわたり、南相馬市雲雀^{ひばり}
が原祭場地において国指定重要無形文化財「相馬野馬追
祭」が開催されました。一千有余年の伝統を誇る祭りは、
昨年から通常規模で開催され、出場騎馬数も450騎と2
年連続の増加となり、大勢の観客で賑わいました。

今年も鎧兜^{よろいかぶと}で身を固めた五郷（宇多、北、中ノ、小高、
標葉）から勇ましい騎馬武者が出陣。雲雀が原祭場地目
指して威風堂々の「武者行列」、勇壮果敢な「甲冑競馬」
や「神旗争奪戦」など天下無比の戦国絵巻が再現されま
した。

双葉町では、今年は総勢3騎の騎馬武者が標葉郷から
出陣し、各騎馬武者が赫々たる武勲^{かくかく ぶくじ}をあげました。

出陣された皆さん、震災と原発事故後も途絶えることなく守り続けてきた誇りを後世に引き継ぐことを誓うとともに相馬野馬追を通して、ふるさとの復興を願いながら、3日間の日程を終えました。

一千有余年の歴史を経て 今なおいきつく伝統の祭り 相馬野馬追祭



＜本年度出場者＞ 敬称略
谷津田光治(軍者)、中川健治(軍者)、山本秀次(御先乗)



県民スポーツ相双地域大会

壮年ソフトボール 第3位



8月3日、相馬市光陽ソフトボールグラウンドにおいて、福島県総合体育大会県民スポーツ相双地域大会が開催されました。双葉町チーム（榎内宏監督）は震災後初めての参加となりました。

一回戦は浪江町チームと対戦し、8対7で逆転サヨナラ勝ちで勝ち進みました。

二回戦は楓葉町チームと対戦し、勝利は逃したもの、第3位という成績を収めました。選手の皆さん、大変暑い中での熱戦、お疲れさまでした。



夏季移動 双葉町行政区長会



※石田行政区長会長より記事のご提供をいただきました。



7月29日、30日の1泊2日の日程で夏季移動双葉町行政区長会が、会津若松市東山温泉で開催されました。この移動区長会は、毎年定期的に開催されるものです。

開会にあたり、石田翼区長会長から「皆さんの忌憚のない意見や情報交換をよろしくお願ひします」とあいさつがあり、伊澤史朗町長からの「地域の絆を維持するため、大変なご苦労をおかけしています」とのメッセージが披露されました。

各行政区からの現況報告においては、住所の把握状況が難しく大変苦労していることや行政区の総会・交流会の開催状況等について発表がありました。

長から多岐にわたる真剣な意見が出されました。現段階では重要な項目等について国からの提示が少ないと、町当局の動向と国の対応を注視していくことになりました。そのほか、双葉町行政区に関する条例等について実情に即していないため、一部改正を求めていくことや行政区の賠償などの意見も交わされました。予定時間を超えた中身の濃い意義のある話し合いが行われました。

また、行政区によつては定期的にお知らせ等の文書を発送している旨の発表があり、各地区の取り組み状況が共有されました。

感動の再会 双葉中学校 昭和44年度卒業同級会



—還暦祝い—

7月19日、20日、郡山市の郡山ビューホテルアネックスにおいて、昭和44年度双葉中学校卒業生による同級会、還暦祝いの集いが開催され、全国各地から55人の参加がありました。

初めて、震災後皆さんが全国に避難している中、とりまとめた代表幹事の新家俊美さんから、「震災後の大変な中で連絡が取れない方もおりましたが、たくさんの方に参加をいたいたこと、また、お二人の恩師の先生方にも大変な状況の中、ご出席をいただいたことに対し感謝のことばを述べられ、さらに還暦という節目の年を迎え、なによりも健康でいられることが一番である」とあいさつがありました。

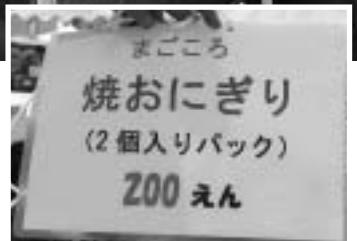
続いて、恩師の門馬孝義先生、菅野良久先生から双葉中学校の思い出話を含めたあいさつとお祝いの言葉をいただきました。

引き続き、菅野先生のご発声により懇親会が始まり、中学時代や震災前の双葉町の思い出話に盛り上がり、あふれる笑顔の中にも懐かしさのあまり目を潤ませる人もおり、時間の過ぎるのを忘れて旧交を温めっていました。

翌日は、ホテルのロビーにおいて別れを惜しんで話し合う姿がしばらく続き、数年後の再会を強く誓い合いました。

※新家俊美様（浜野）より写真のご提供をいただきました。

いわき・まごころ双葉会 平七夕祭りに出店



いわき市を代表する夏祭りとして、また平の夏の風物詩として親しまれている平七夕まつりが8月6日から8日まで、いわき駅前商店街において開催されました。

目抜き通りには市民の皆さんのがれきとりの七夕飾りや双葉郡の住民の方々が復興と感謝の願いを込めた七夕飾りも飾られ、浜風に揺れる中、大勢の見物客で賑わいました。

また、通りのところどころには笹竹に願いごとを書いた短冊が飾されました。双葉町の笹飾りには、小、中学生や町議会議員の皆さん、いわき・まごころ双葉会（岡田常雄会長）の会員の皆さんが書いた願いごとが書かれた短冊が飾されました。

平和通りの復興屋台村には双葉町のブースが設けられ、3日間にわたって交代でいわき・まごころ双葉会の会員が砂糖じょうゆでこんがり焼いた「焼きとうもろこし」と「まごころ焼きおにぎり」の販売を行いました。

会員の皆さんは道行く人に笑顔で声をかけていました。お客様の中には「双葉町の皆さんのがんばってください」と励ましの声をかけてくださる方もいて、心温まる交流の場となっていました。



郡山行政区からのお知らせ

郡山区長 齊藤 宗一

総会（大字会）及び交流会の開催について
記

○日 時 9月6日(土)～7日(日) 1泊2日
総会…午後3時～
交流会…午後6時～

○場 所 磐梯熱海温泉 金欄荘
郡山市熱海町熱海4-321
☎024-984-2111

○会 費 大人1人…10,000円
※準備の都合上、早目の連絡をお願いいたします。

【連絡先】 区長 齊藤 宗一
☎ 090-1062-6776 FAX 0293-44-3287

いわき・まごころ双葉会

会員の皆さんへ

年間活動計画の日帰りバスツアーを下記のように実施いたします。皆さまのご参加をお待ちしています。

1. 実施日…10月1日(木)
2. 行き先…宮城県松島市方面
(奥松島遊覧・他)
3. 詳細については、各方部担当者が9月上旬に参加募集いたします。

いわき・まごころ双葉会
会長 岡田 常雄



友好町 京都府京丹波町との交流事業



▲歓迎の言葉を述べる木幡薫乃さん



▲交流への思いを述べる京丹波町野球クラブ
中学3年生の樋口弘道くん



▲双葉町中学校チーム



▲双葉町小学校チーム



▲双葉町からは記念に双葉ダルマを贈りました。



▲みんなで昼食

-健康生活のススメ-

食べる順番に気をつけて



夜遅くに食べると太りやすいと言われるのは、食べたものが体脂肪にかわりやすくなるたんぱく質が、日中よりも増えるからです。しかし、食べる時間だけでなく、食べる順番も健康に影響があるようです。

食事をすると血糖値が上がります。私たちの体は、血糖値が上がると満腹中枢を刺激し食事を止め、血糖値が下がると空腹を感じます。血糖値が急上昇すると、脾臓からインスリンがたくさん分泌され、血液中の糖分を脂肪にかえて体に取り込むようになるために、太りやすくなります。

ごはんやお菓子に含まれる砂糖は血糖値を上げやすい食品です。いっぽう、野菜や海藻、きのこに多く含まれる食物繊維は、血糖値の上昇をゆるやかにします。よく噛むことも血糖値の上昇を抑える効果があります。健康な成人を対象に、ごはん→野菜の順で食べる人と、野菜→ごはんの順で食べる人で食後の血糖値の変化を比較した実験があります。順番を変えただけで食べる量は同じです。結果は野菜から食べた人が、血糖値の上昇がゆるやかになり、血糖値のピークも低くなりました。

食べる順番、食べ方は、まず野菜を最初に食べ、次にメインのおかず（肉や魚などのたんぱく質）を、それぞれ5分くらいの時間をかけて食べます。野菜にかけたドレッシングやマヨネーズ、メインのおかずに含まれる脂質は食物が胃にとどまる時間を長くし、血糖値の上昇を抑える効果もあります。

ごはんやパンを吃るのは、食事を始めて10分くらいたってからがよいでしょう。

外食の際は、なるべくお皿の数の多い定食メニューを選ぶ、めん類なら野菜が多く載っているもの（タンメンなど）を選ぶ、具の多い汁物をプラスするなど工夫ができます。

急激な血糖値の上昇は脾臓に負担がかかります。また、血管にダメージを与え動脈硬化が起こりやすくなることも明らかになっています。糖尿病や糖尿病予備軍（血糖値が高いと言われたことのある方）の方は、意識してください。

野菜→ごはんの順で吃る方が、血糖値が緩やかに上昇し、血糖値のピークも低くなりました。



(金本郁男 他、糖尿病、53、2、96-101、2010)

かんたんレシピ

○大豆もやしのおろしあえ【2食分】



<材 料>

- ・大豆もやし…1袋 (200 g)
- ・大根…150 g (3~5 cm)
- ・さば缶…1缶

<作り方>

- ①大豆もやしは、水と一緒に鍋に入れ火にかける。沸騰してから3分ゆで、ざるにとり水けをきる。
- ②大根はすりおろす。
- ③ボウルにもやし、さば缶を入れ大根おろしを加えてあえる。

※大豆もやしは豆の部分に甘味があり、歯ごたえがあります。普通のもやしで作るとやわらかく食べられます。

※みそ煮缶ならそのままで、水煮缶ならしょうゆを少々加えます。

※大葉や青ねぎを加えると、彩りや香りがよくなります。



よく噛むと血糖値が上がりにくいのはなぜ？

- ①食事のスピードがゆっくりになり、消化吸收もゆるやかになる。
- ②よく噛むと代謝が活発になり、消費カロリーが増加する。
- ③食べ過ぎを抑えるホルモンが分泌される。

15~20回噛むことから始めましょう



資源エネルギー庁・福島県・関係市町村からのお知らせ

**住居確保損害の
賠償に関する**

説明会・相談会のご案内

東京電力は、7月23日に「住居確保に係る費用の賠償及び住居以外の建物修復に係る費用のご請求の受付開始について」を発表し、請求の受付を始めました。

この住居確保損害の賠償は、被害者の方の生活再建に大変重要であることから、資源エネルギー庁、福島県、関係市町村では、請求手続きを円滑に進めていただけるよう、原発事故時点で避難指示区域の住居にお住まいだった方を対象にした説明会、相談会を右記のとおり開催しますのでご案内いたします。

※いわき市以外での開催も予定していますので、決まり次第お知らせします。

※住居確保損害の賠償については、東京電力のコールセンター「福島原子力補償相談室 貢物（土地・建物・家財）ご相談専用ダイヤル（☎ 0120-926-596 午前9時～午後9時）」または各損害賠償相談窓口でも隨時相談することができます。

当日のスケジュール

○第一部：国及び東京電力による説明会 午前10時～11時30分 場所：大ホール
国及び東京電力が、住居確保損害の賠償の内容や請求手続きについて説明します
(定員300人。事前の申し込みが必要です)

○第二部：東京電力による個別相談会 午後1時～4時45分の間 場所：大講義室
住居確保損害の請求手続きに関して、東京電力が個別面談方式による相談に応じます
(事前の予約が必要です)
※会場の都合上、80組程度とさせていただきます。なお、東京電力の各損害賠償窓口では、隨時同様の相談が可能です。

第一部、第二部とも事前の申し込みや予約が必要ですので、ご希望の方は下記までご連絡ください。

原子力損害の賠償等に関する問い合わせ窓口（県原子力損害対策課内）

受付電話番号 ☎ 024-523-1501(平日：午前8時30分～午後5時15分)

開催日：9月15日(月)

場所：いわき市文化センター

いわき市平字堂根町1-4

※申し込みや予約が必要です。詳しくは、下記の
当日のスケジュール等をご覧ください。



「全国一斉！法務局休日相談所」開設のお知らせ

法務局では、地域住民の方々から日常生活でのさまざまな心配ごと、困りごとの相談をお受けし、行政サービスの一層の向上を図ることを目的として「全国一斉！法務局休日相談所」を開設します。
相談は無料で、秘密は守られます。

(内 容)不動産・商業登記の手続き、土地の境界問題（含む筆界特定）、遺産相続、地代、公証に関すること、風評被害による人権問題など

(担当者)法務局職員、司法書士、土地家屋調査士 他

(日 時)10月5日(日) 午前10時～午後4時

(場 所)福島地区…福島駅前中合デパート

(2番館7階イベントホール)

相馬地区…イオンスーパーセンター南相馬店

郡山地区…郡山駅前「ビッグアイ」

(7階市民交流プラザ)

白河地区…イオン白河西郷店

会津地区…生涯学習総合センター

(会津稽古堂)

いわき地区…イオンいわき店

【問い合わせ先】福島地方法務局 総務課

☎ 024-534-1941

生涯学習で自分みがき・仲間づくり

教育総務課生涯学習係事業開催のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
	1	2 ◇しらかわ 生活学級 (白河市) 防災講座 郭内第二応急仮設 集会所 13:30~15:00 ○梅檀婦人 学級 (福島市) 手芸 アオウゼ 10:00~	3 ◇こおりやま 生活学級 (郡山市) 防災講座 せんだん広場 13:30~15:00	4 ◇ふくしま 生活学級 (福島市) 防災講座 アオウゼ 10:30~12:00	5	6  生活学級の日程 婦人学級
7	8	9 ◇いわき・ 生活学級 防災講座 役場いわき事務所 13:30~15:00 ○すみれ婦人 学級 (いわき市南台) 健康講座・茶話会	10 ○桜婦人学級 (いわき市) 健康講座 いわき市 文化センター 10:00~11:30	11 ◇そうま・みなみ そうま生活学級 (南相馬市) 防災講座 原町生涯学習センター 10:30~12:00 ○しらゆり 婦人学級 (南相馬市)	12	13
14	15 第8回市町村 対抗福島県 軟式野球大会 開成山球場(郡山市) 13:00~ 対 喜多方戦 ※雨天順延	16 ○ふたば婦人 学級 (会津若松市) パッチワーク (第1回)	17 18 ○はなみずき 婦人学級 (埼玉県加須市) 加須市民との交流	19 ◇あいづ 生活学級 (会津若松市) 防災講座 第二中学校西 応急仮設集会所 13:30~15:00	20 第2回 成人式 実行委員会 13:00~ 郡山市ホテルハマツ 新成人の皆さんへの参加 をお願いします	
21	22 ○ひめ萩婦人 学級 (宮城県仙台市) は9月も行います。 詳細は個別通知で ご確認ください。	23	24	25 △つくば生活 学級 (茨城県つくば市) 現地研修	26 ◇かぞ生活 学級 (加須市) 防災講座 騎西コミュニティ センター 13:30~15:00 ○ふたば 婦人学級 (会津若松市) パッチワーク (第2回)	27 ファースト デート ホテルアクセス ○たんぽぽ 学級 (郡山市) 現地研修
28	29	30 ○ひまわり 婦人学級 (白河市) 現地研修	第44回 勿来地区総合文化展 日時：10月18日(土)・19日(日) 場所：いわき市立勿来体育館			双葉町芸術文化団体 連絡協議会及び双葉町 民の皆さん的作品も出 展いたします。

生活学級

◇は、「防災講座」です。

△は、「郷土文化講座(現地研修)」です。

婦人学級

○は、婦人学級です。

～社会福祉協議会サロンのお知らせ～

平成26年度も福島県内外において社会福祉協議会サロンを開催しています。

双葉町民の交流や情報共有及び心身のリフレッシュを兼ねて、日常生活の糧へと繋がるような楽しい時間を一緒に過ごしましょう。



9月開催予定日

開催場所	住所・連絡先	開催月日	時間
白河市郭内第二応急仮設住宅D2-4	白河市郭内151-29 ☎080-6290-5930(担当:開発)	毎週水・金	9:30~11:30 13:30~15:00
せんだん広場『絆カフェ』	郡山市御前南二丁目73 ☎024-983-1861	9月29日(月)	14:00~15:30
郡山市富田町若宮前応急仮設住宅集会所	郡山市富田町字町11-15 ☎024-983-9420	9月29日(月)	10:00~11:30
郡山市喜久田町早稲原字上ノ端54-4	郡山市喜久田町早稲原字上ノ端54-4 ☎024-983-9590	9月9日(火)	10:00~11:30
白河市郭内第二応急仮設住宅集会所	白河市郭内151-29 ☎0248-27-2324	9月9日(火)	10:00~11:30
福島市さくら応急仮設住宅談話室	福島市さくら一丁目10-1 ☎024-593-6511	9月18日(木)	10:00~11:30
福島市北幹線第二応急仮設住宅集会所	福島市飯坂町平野内小田原8-1 ☎024-573-2598	9月18日(木)	13:30~15:00

【問い合わせ先】双葉町社会福祉協議会 郡山事務所 ☎ 024-973-5291【担当:泉田】

みんなこらんしょひろば

たまにはみんなでリフレッシュ!
体操、ゲーム、歌って、笑って、お茶飲んで
健康に関する相談もできます。
参加は無料、お申込みも不要です。

日 時 第1回 9月19日(金)
第2回 10月31日(金)
第3回 11月21日(金)
第4回 12月19日(金)

時間は
午前10時～正午
までです。

会 場 大槻東地域公民館 (郡山市大槻町御前南二丁目93)

対象者 県中地域に避難している双葉8町村及び南相馬市の住民
内 容 軽体操、唱歌、おしゃべり広場、よろず相談、栄養相談、
歯科相談、心の相談、薬の相談

主 催 福島県県中保健福祉事務所

スタッフ 医師、看護師、薬剤師、社会福祉士、臨床心理士、
管理栄養士、栄養士、歯科衛生士

【問い合わせ先】福島県県中保健福祉事務所 健康増進課 根本
☎ 0248-75-7814

ふるさとのまつり2014

ふくしまの祭りが集結!震災を超えて、強い絆で守り抜かれた伝統芸能のステージ公演のほか、伝統芸能の体験コーナー、伝統工芸の創作コーナー、ご当地グルメコーナーなどの“ふるさと”がもっと好きになる楽しいイベントもいっぱい!

双葉町からも新山の神楽、山田のじゃんがら念佛踊り、前沢の女宝財踊りが出演します。

○日 に ち 10月4日(土)、5日(日)
○場 所 福島市 四季の里
○出 演 時 刻 4日(土)10:50～山田
13:45～新山
5日(日)11:10～前沢

【問い合わせ先】

福島県文化振興課

☎ 024-521-7154





双葉の風たより

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りの一部をご紹介いたします

想いを伝える



▶体験談を話す熊川さん

7月19日、埼玉県朝霞市中央公民館ホールにおいて、年金者組合朝霞支部主催による「チャリティーコンサートと大震災の体験を聞く会」が開催され、約180人が参加しました。初めに太田真季さんの美しい歌声のコンサートが行われ、続いて双葉町から朝霞市に避難している熊川多恵子さん（両竹）が、津波や福島第一原子力発電所による事故からの避難の状況、故郷を奪われた想いについて一言ひとこと語りかけるように話しました。また4作目（震災後2作目）となる7月に発行した詩集「ぼくらのあかし」の中から3つの作品を朗読しました。

熊川さんは「とても緊張ましたが、震災やあの日のこと、私たち被災者のその後の生活や想いを少しでも多くの方に伝えることの大切さを身に染みて感じます」と話していました。

7月19日、埼玉県朝霞市中央公民館ホールにおいて、年金者組合朝霞支部主催による「チャリティーコンサートと大震災の体験を聞く会」が開催され、約180人が参加しました。初めに太田真季さんの美しい歌声のコンサートが行われ、続いて双葉町から朝霞市に避難している熊川多恵子さん（両竹）が、津波や福島第一原子力発電所による事故からの避難の状況、故郷を奪われた想いについて一言ひとこと語りかけるように話しました。また4作目（震災後2作目）となる7月に発行した詩集「ぼくらのあかし」の中から3つの作品を朗読しました。

あの懐かしい風景は
面影すらもないほどに
すっかり
その姿を変えてしまったけれど

キラキラと輝く 木漏れ陽の中
青々と息づく 緑の中

そこにキミは
いまでも いるのだろうか
キミだけは変わらずに
あの頃のまま…

真奈美（熊川多恵子・両竹）著
詩集「ぼくらのあかし」より

夏本番

- ・夏祭り 梅雨去りて 夏連れてくる 時鳥
- ・荒れた庭 雑草が支える ねじり花
- ・梅雨去りて 夏連れてくる 時鳥
- ・上げ花火 音こだまして 夏の宵
- ・真夏日の 空焦すよに 咲く花火
- ・夏祭り 浴衣涼しげ 紅鼻緒

武内 恒雄（長塚二）

人のうごき7月分

敬称略

お誕生おめでとうございます

氏名	生年月日	保護者	行政区
井戸川侑翔	6月18日	雅俊・美穂	中田
富澤 未来	6月29日	淳也・梨沙	新山

お悔み申し上げます

氏名	年齢	死亡日	行政区
大浦 勝美	74歳	7月15日	新山

双葉町民の避難状況

(平成26年8月1日現在)

- ・福島県内に避難されている方 4,055人
- ・福島県外に避難されている方 2,977人

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示しています。

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、死亡の記事を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご連絡ください。

☎ 0246-84-5202

双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、私たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もなお全国に分かれて避難生活を送っています。

先の見えない不安な生活の中で、町民の皆さんのが毎日をどのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さんの声をお聴きしながら「ふるさと絆通信」として連載していきます。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さんの双葉町への思いと心の絆がより一層深まるこことを期待いたします。

記録として次の世代へ きずな ふるさと絆通信 第16号



「ふるさと絆通信」であなたの想いを伝えてみませんか。

ふるさと絆通信では、避難されている皆さんへ想いを伝えていただける方を募集しています。

避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双葉町への想いをこのコーナーでお話ください。双葉町民の方ならどなたでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

【問い合わせ先】秘書広報課
☎ 0246-84-5202



ずっと、ふるさと。双葉町。

にいかわ としみ
新川 敏美 さん
(中田)

ふるさと 糸通信



私の自宅は、築約80年ですが、リフォームを施しながら生活してきました。被災当日は、自宅や田畠がどうなつてしまつたかを確認することもままならなかつたため、翌朝早く、避難所から自宅に向かおうとしましたが、消防団員から制止されました。それから間もなく、町外への避難指示が出されました。しかし、十分なガソリンが無いなど、ギリギリの状態での避難となりました。私たち家族は、二手に分かれ、私たち夫婦と両親は、浪江町内の親類と合流し一本松市の避難所に入り、

なり、安全確認を経て解散となり、会社に向かいましたが、すでに大津波が襲来して会社の周辺は浸水とがれきに覆われ、同日朝、通勤のために乗ってきた車も見当たらない状態になつていきました。幸い、同じ方面に帰宅する同僚が、勤務先の車で送ってくれたため、帰宅することができました。自宅に到着した時、すでに家族は不在でした。おそらく避難したであろうと思い、避難所になつてている双葉北小学校に向かいました。家族と再会できた時には、安心したせいか、緊張が解けたというか、ほつとした気持ちになりました。

私は震災に遭うまで、富岡町内にある建設会社に勤務していました。会社はJR富岡駅前にあつたため、津波で被災してしまいました。平成23年3月11日は第二原発の構内で仕事をしていましたが、大地震とそれに続く大津波の発生を受け、同構内での作業は中止と

今年1月、私は中田行政区の区長を、前任の中村希雄会長より引継ぎました。当行政区は28世帯あり、いわき市内をはじめ県内外各地に散らばっています。世帯数が多い地区ではなく、古くから何代にもわたつて生活してきた方々ばかりのため、地区内の繫がりはありましたが、故郷を追われて3年以上経った今日、「故郷の繫がり」も薄れていき、「故郷の姿」は荒れ果てていくようになります。

平成23年9月、南台仮設住宅に入居することができ、私たち家族は、再び一緒の生活ができるようになりました。入居した頃は、先行きが全く不透明な状態でした。現在も基本的にそうした状況であることに変わりありませんが、相当長期にわたって双葉への帰還は難しいことだけは認識するようになりました。帰れない一方、時間が止まるわけではなく、特に、長男夫婦の人生や孫たちの成長を考えると、いつまでも仮住まいでのりにもちがないと思うようになり、仮設住宅を出ていわき市内に居を構え、現在に至っています。

そこで、東京都内に住む次男が迎えに来たため、私はせんだん介護員をしていたため、同施設の入所者の世話を携わるため県内に、一時、残りました。また長男たちは町の皆さんと一緒に加須市の避難所に向かい、しばらくして、同市内の借上げ住宅に移りました。



たしろ しげお
田代 重夫 さん
きよこ
清子 さん
(長塚一)



●避難先●
茨城県阿見町

私はヘルスケアーフタバで、利用者送迎などの仕事に就いていました。通常であれば、午後3時前後は、帰宅する利用者の移動を行っていましたが、震災発生当日は、それどころではなくなり、入所者や施設に避難してきました。町民の皆さんのために、急ぎよ、食料など物資調達を行つていきました。自宅には妻がおりましたが無事で、一度、双葉北小学校に避難しましたが、後に、私がいる施設に移つてきました。震災発生の翌朝、避難指示を受けて、施設に残つた利用者、約20人のお年寄りの移動を担当することになりました。いずれの皆さんも、認知症であつたり、体が不自由であつたりしており、細心の注意を払う必要がありました。町を出て、渋滞の中、普段であれば、1時間程度の道のりは数時間にも及び、ようやく川俣町の避難所に到着しました。

町外に避難後、しばらくの間、そうしたお年寄りと行動を共にしました。本来であれば、ご家族と一緒に良いのでしようが、原発の爆発が重なり、困難と困窮を極めた状態の中、親御さんを引き取れず避難を強いられたご家族の皆さんのお気持ちを考えると、せめて、私たち夫婦にできることがあればという気持ちでした。避難所でお年寄りたちは、不安のためか昼夜を問わず徘徊などがひどくなり、夜中に歩き回り、家族の姿を求めてさまよい歩く方、「ベゴにマンマかせねつかなんね?」と、元気に家畜の世話をしていた頃を思い出す方

など、そうした姿に接するたびに、何度もなく、妻と共に涙したことを忘れることがあります。避難開始からの約1週間は、満足に寝ることもなく、さいたまスープアリーナ、旧騎西高校へと移動しました。その後、約半年間、旧騎西高校で生活しましたが、つくば市内の公務員住宅が私たち避難者向けに開放されることになり、平成23年9月に妻が先に同住宅に移り、私は、ヘルスケアーフタバでの任期を終えた翌年3月に加須市を離れました。

つくば市の公務員住宅は、庭があり、土に触れ合い、植物に癒される生活は良かつたのですが、長期間使用されていなかつた住宅のため、害虫の侵入が非常に多く、あらゆるところに虫が入り込み、防虫剤や殺虫剤が手放せませんでした。

つくば市に移つてから、子どもや孫を呼べるような、夫婦で落ち着けるところがないかと思うようになりました。そんな矢先、偶然見かけた不動産広告で、物件ではなく、「不動産屋の名称」がちよつと変わつていたために留まり連絡をしてみたという不思議な縁で、現在の住宅に巡り会い、昨年9月から、この阿見町で生活しています。どうせ帰れないなら、思い切つて知らない土地でという気持ちで、ゴミ出しのルールを教えてもらうことなど、ゼロから近所付き合いを始め、今年度は、隣組長をさせていただいております。

もりいえ あやこ
守家 文子 さん
 (鴻草)

ふるさと ●避難先●
 茨城県つくば市
伴通信



「神様は越えられないハードルは与えない」。そんな言葉がありますが、長男の早世後、日が浅い中の東日本大震災。そうした言葉の存在に絶望感のようなものを感じたこともありました。

被災当時は統一地方選挙を間近に控えた時期で、私はある県議会議員の後援会関係者として、町内にある同会事務所におりました。事務所内には、応援メッセージ、お札と共に、一升瓶に入った多くの御神酒がありました。大地震の発生とともに、お札と一緒に升瓶が揺れ始めました。私はとっさに割れたら大変だと思い、倒れそうになつた瓶を抑えるなどの行動をとりましたが、揺れは立つていることができないほどで、やつとの思いで外に出て、地面に座り込んでしまいました。周りを見渡すと、事務所に隣接する漬物店のガラスが割れ、随所で地面が割れていきました。

揺れが落ち着いたのを見計らつて、自宅に戻りました。普段は10分もかかるない距離でしたが、道路の陥没や隆起、渋滞などのために迂回しながらだったため、帰宅まで結構時間を費やしました。幸い、家族にけがはありませんでした。

翌朝、町外避難となりましたが、被災当日の地震発生前、父が体調不良を訴え、母も付き添いで双葉厚生病院に向かい、父はそのまま病院で一夜を過ごしました。母は

その夜は帰宅しましたが、避難指示の情報が入る前に父がいる病院に戻るなどしたために、夫、私と息子たち、両親はそれぞれ別々に町を離ることになりました。当時、はつきりとした理由を告げられないままの避難指示だつたため、せいぜい数日のことと思いつつには多めに餌と水を与え、私たちが出た後に両親が帰宅する場合に備え、避難している旨の置手紙を残しました。

川俣町内の避難所、会津地方の親類宅、さいたまスープアリーナ、旧騎西高校を経て、現在生活しているつくば市内の公務員住宅に移りました。つくばに来てから、福島県内で放射能の危険に怯え、肩身の狭い生活をしている知人が、こちらに移るお手伝いをさせていただいたこともあります。

双葉町に住んでいた頃は、畑で採れた新鮮な野菜が食卓を飾っていました。それぞれの野菜の「旬」には、毎食、毎日、同じ野菜を使ったメニューが連続して「またこれなの！」と苦笑いされることもありましたが、そうした日々が懐かしく思うと同時に、そうした故郷でのことは二度と戻つてこないのかと思うと悲しく残念です。何も、ぜいたくなことを望んではいません。何かをしながらも家族と暮らしていた、あの時を返して欲しい。そして、家族が「普通に食卓を囲める」そんな時間を返して欲しいと切に願うだけです。



いどがわ しゅん 井戸川俊 さん

(新山)



●避難先●
福島県福島市

紋

通信

被災してから、私は双葉町のために働きたいという気持ちが強くなり、行政関係について勉強できる福島大学に進学しました。私の場合、単純に「復興のため」ということより、「故郷に寄り添っていきたい」という気持ちが強いのではないかと思っています。

平成23年3月、私は原町高校の1年生でした。大地震が発生した時は、教室で世界史の授業を受けていました。大きな揺れが収まり、余震の続く中、校庭に避難しました。しばらくすると、安全確認が終わり、下校できる生徒から帰宅を始めましたが、双葉町に向かう交通手段は無く、南相馬市内の避難所等に2泊しました。家族が避難先の川俣町から駆け付け、3月13日夕方に合流し、その後、平田村にある母の実家にしばらくお世話をになりました。

4月になつて、両親の仕事が再開したのに伴い、家族で会津若松市内に移り、私は会津高校に編入しました。

私は高校、大学と陸上競技（長距離走）を続けています。多くの皆さんには、昔から走るのが得意だったのかと聞かれますが、実は全く違います。子どもの頃は喘息に悩まされ、外で遊ぶというタイプではなく、幼児性肥満という状態でした。小学校のマラソン大会では、いつもビリ争いをしていましたが、小学校3年生の時に水泳を

始めたことがきっかけとなつて、徐々に肥満が解消され、走るのも早く、順位を上げられるようになってきました。

中学生になつてから、本格的に陸上競技を始めたいと思いましたが、双葉中学校には陸上部がなく、柔道部に進みました。中学3年生の時には、補欠として福島駅伝に参加しました。中学3年生の中体連などの大会出場のために設置される「特設陸上部」にも併せて所属しました。柔道・陸上ともに力を注ぎ、柔道は黒帯を得るところまでいきました。中学3年生の時には、補欠として福島駅伝に参加しました。高校2年生の時には、正式メンバーに選ばれ、双葉町のたすきど、故郷、そして震災で亡くなつた同級生への思いを胸に、精一杯走りました。

大学では、サークルに所属し陸上を続けています。陸上部への所属も考えましたが、縛られずに、自分なりのやり方で陸上競技を楽しんでいきたいと思い、サークルでの活動を選択しました。もちろん、今のやり方が自分に合つていると感じていますし、一般のマラソン大会などに参加しながら楽しんで走ることができます。もちろん、声がかかり続ける限り、ふくしま駅伝には出続けたいと考えています。

被災以降、町民がバラバラになつていている状態ですが、ふくしま駅伝が、地域の絆を共有することに少しでも寄与できれば、一人の走者として、とてもうれしく思います。

東部建設 株式会社

仙台営業所

あべ としかず
代表取締役 阿部 利一さん
(羽鳥)

ふるさと
伴通信

●避難先●
仙台市青葉区



平成6年に会社を設立して、今年で20年目になります。震災の数年前からは、公共事業の削減により、仕事量が少なく、決して楽な状況ではありませんでしたが、ごまかしだけはしないという精神で下請け仕事をから始め、創業7年目あたりからは、公共事業に参加できるようになりました。

被災当時、受注した2件の工事が施工中でした。しかし避難により、工事は一時中断しましたが、4月に入り、状況が見えてきたのに伴い、避難区域外にあつた1件を完成させることができました。

私は、妻、長男夫婦、孫と共に暮らしていました。私たち夫婦は、愛知県内に住む長女夫婦のもとに、長男親子は千葉県内にあるその妻の実家にそれでお世話になりました。長女のもとを目指す途中、福島県から離れるにつれて、後ろ髪を引かれる思いでした。私は、羽鳥行政区の副区長を務めていましたが、避難に際し、皆さんに何もしてあげられない今まで、申し訳ないという気持ちでいっぱいでした。しかし、家族、特に、子どもや孫の安全を守るためにはやむを得ないことでした。

しばらく、愛知県内で生活しましたが、福島から遠く離れ、情報も入らなければ、双葉の皆さんとのコミュニケーションもとれません。そこで、少しでも近いほうが良いのではと、仙台市内に移りました。故郷



東部建設株式会社 仙台営業所

〒980-0871

宮城県仙台市青葉区八幡3-18-15

ウエスト・アーバンイワマ103号

電話 (022) 796-6601

FAX (022) 796-6116

の復興に少しでも貢献したいという気持ちはあります。現実問題として、家族が完全に生活できて、人を雇用していくとなると、それなりの市場規模が必要になります。そうであれば、20年前の創業と同じよう、ゼロから創っていくこうと考えました。また、石巻市内の建設会社に勤務している次男が、その妻とともに会社を継いでくれることになつたため、仙台に拠点を設けることにしました。来年には、次男夫婦が会社に合流する見通しです。

避難以降、特に仙台に移つてから、会社の再建など、忙しい日々を送っています。また、この地で避難生活を送る有志の自治会「双萩会」にも参加させていただき、代表を預からせていただいています。

ぼくの夢・わたしの夢



いわき市立湯本第三小学校6年 遠藤悠太郎くん(下条)

ぼくの将来の夢は、競輪選手になってオリンピックに出ることです。

なぜなら、ぼくのおじさんが競輪選手でオリンピック出たことに強いあこがれをもったからです。この夢は保育園の時から変わっていません。夢を叶えるために今は、陸上をやって体を鍛えています。勉強もがんばっています。

たまに祖父と一緒に自転車で10kmくらい走っています。双葉町に住んでいた時には請戸まで行ったりしていました。

夢を叶えるのは簡単なことではないと思いますが、今やらなければならないことをきちんとやり、努力していきたいと思います。

暑さの中にも夕方になると虫の声が聞こえてきたり、空が高くなったりと少しずつ秋の訪れを感じられます。高くなったりと少しずつ秋の訪れを感じられます。空が
今月の表紙は、8月6日から8日まで行われた平七夕祭りを彩った双葉町の七夕飾りの写真です。この飾りは、いわき・まごころ双葉会の方々が丹精込めて製作したものです。震災から4回目を迎えた夏には、集まれふたばっ子をはじめとして各地で様々な行事が行われました。なこそ夏祭りでは、踊りの合間に「双葉がんばれ！」の掛け声をいたいたり、平七夕祭りには「双葉町のことを応援しています」との声をいたしたりと避難先の住民の皆さんとの温かい心使いを感じることができました。これからも双葉町民の皆さんとの絆を大切にしながら、避難先の地域の方々と交流を深めています。

—編集後記—

今月のベストスマイル



集まれ！ふたばっ子2014に参加した中学3年生の志賀歩美さん(左)、名兒耶雅さん(中央)、志賀伶美香さん(右)の笑顔です。

連絡先

○いわき事務所 〒974-8212 福島県いわき市東田町二丁目19-4
☎ 0246-84-5200 FAX 0246-84-5212、0246-84-5213
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp

○郡山支所 〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20番2号
☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

○埼玉支所 〒347-0105
埼玉県加須市騎西36番地1 加須市騎西総合支所1階
☎ 0480-53-7780
FAX 0480-53-7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式ホームページ <http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>
携帯サイト <http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/m/>

○双葉町公式フェイスブックページ つなげよう つながろう ふたばのわ
<http://facebook.com/fukushima.futaba>

